

## はしがき

本資料は、都市研究部が中心となり、建築研究部、住宅研究部、所外の研究者の協力を得て実施した「都市型社会に対応した良好な市街地環境の確保のための調査研究」（行政部費事項立て、2004～2006年度）の研究成果を取りまとめたものである。

市街地における建物間の相隣環境の制御を目的とする建築基準法第3章のいわゆる「集団規定」では、建物高さや壁面位置の制限等、建物の規模・形状・配置を制限する「形態規制」を実現手段の一つとしている。形態規制は、相隣空間における採光、通風、開放性等の環境確保を目的としているが、近年、建築規制のアカウンタビリティーの向上や合理化・規制緩和の要請の中で、その規制効果の定量的検証や性能基準の検討が求められている。

本資料では、建築基準法集団規定における形態規制を念頭におき、規制の科学的根拠と「性能」確保の観点から、市街地環境のうち、採光、換気・通風、圧迫感・開放感、防火・避難の各環境を取り上げ、シミュレーションや実験を行いながら、各環境性能に関する定量的評価方法の開発と性能基準の検討を試みている。

これまで形態規制については、このような科学的アプローチからの研究は前例に乏しく、本研究は本格的かつ体系的に取り組んだ初めての試みであったと言える。ただし、今回対象にできなかった環境要素に関する検討、今回の研究成果の汎用性・実用性の向上、性能水準に関する社会的合意等、今後検討すべき課題はまだ多く残されている。本資料が、形態規制に関する今後の更なる研究発展のための契機となれば幸いである。

なお、本研究を実施するに当たり、国土交通省住宅局市街地建築課、都市・地域整備局都市計画課にご指導いただくとともに、東京大学生産技術研究所の加藤信介教授、黄弘助教、石田義洋産学官連携研究員、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻の平手小太郎教授、千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻の宗方淳准教授、関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科の吉澤望専任講師、独立行政法人建築研究所防火研究グループの萩原一郎上席研究員、早稲田大学人間科学学術院の小島隆矢准教授、芝浦工業大学システム工学部環境システム学科の篠崎道彦教授、桑田仁准教授、斉藤圭氏からは、多くの貴重なご示唆をいただいた。関係各位に記して謝意を表したい。

国土技術政策総合研究所

## 執筆・編集分担

(敬称略, 所属は平成19年2月時点, ※印は取りまとめ担当)

後藤 隆之	国土交通省国土技術政策総合研究所都市研究部長	第1章、第6章
明石 達生	国土交通省国土技術政策総合研究所都市研究部都市計画研究室長	第1章※、第3章、第4章、第6章※
石井 儀光	国土交通省国土技術政策総合研究所都市研究部都市計画研究室主任研究官	第1章、第2章、第3章、第4章※、第5章、第6章
岩見 達也	国土交通省国土技術政策総合研究所都市研究部都市計画研究室主任研究官	第5章※、第6章
勝又 濟	国土交通省国土技術政策総合研究所都市研究部都市開発研究室主任研究官	第1章、第2章※、第3章※、第4章、第5章、第6章
澤地 孝男	国土交通省国土技術政策総合研究所建築研究部建築新技術研究官	第3章
三木 保弘	国土交通省国土技術政策総合研究所住宅研究部住環境計画研究室主任研究官	第2章
加藤 信介	東京大学生産技術研究所教授	第3章
黄 弘	東京大学生産技術研究所助手 (現・東京大学生産技術研究所助教)	第3章
石田 義洋	東京大学生産技術研究所産学官連携研究員	第3章
平手小太郎	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻助教授 (現・東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授)	第4章
宗方 淳	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻助手 (現・千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻准教授)	第4章
吉澤 望	関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科専任講師	第4章
萩原 一郎	独立行政法人建築研究所防火研究グループ上席研究員	第5章
小島 隆矢	独立行政法人建築研究所建築生産研究グループ主任研究員 (現・早稲田大学人間科学学術院准教授)	第4章

### <本資料における著作権の取扱いについて>

- 本資料は執筆・編集に携わった関係者全員の共同著作物とします。
- 本資料の著作権は、各著作者（執筆時、国土技術政策総合研究所（以下「国総研」という。）の職員であった者を除く。）及び国総研が共有します。
- 国総研は、本資料の共有著作権を代表して行使します。
- ただし、各著作者が執筆した部分を自らの用途のために使用することを妨げません。